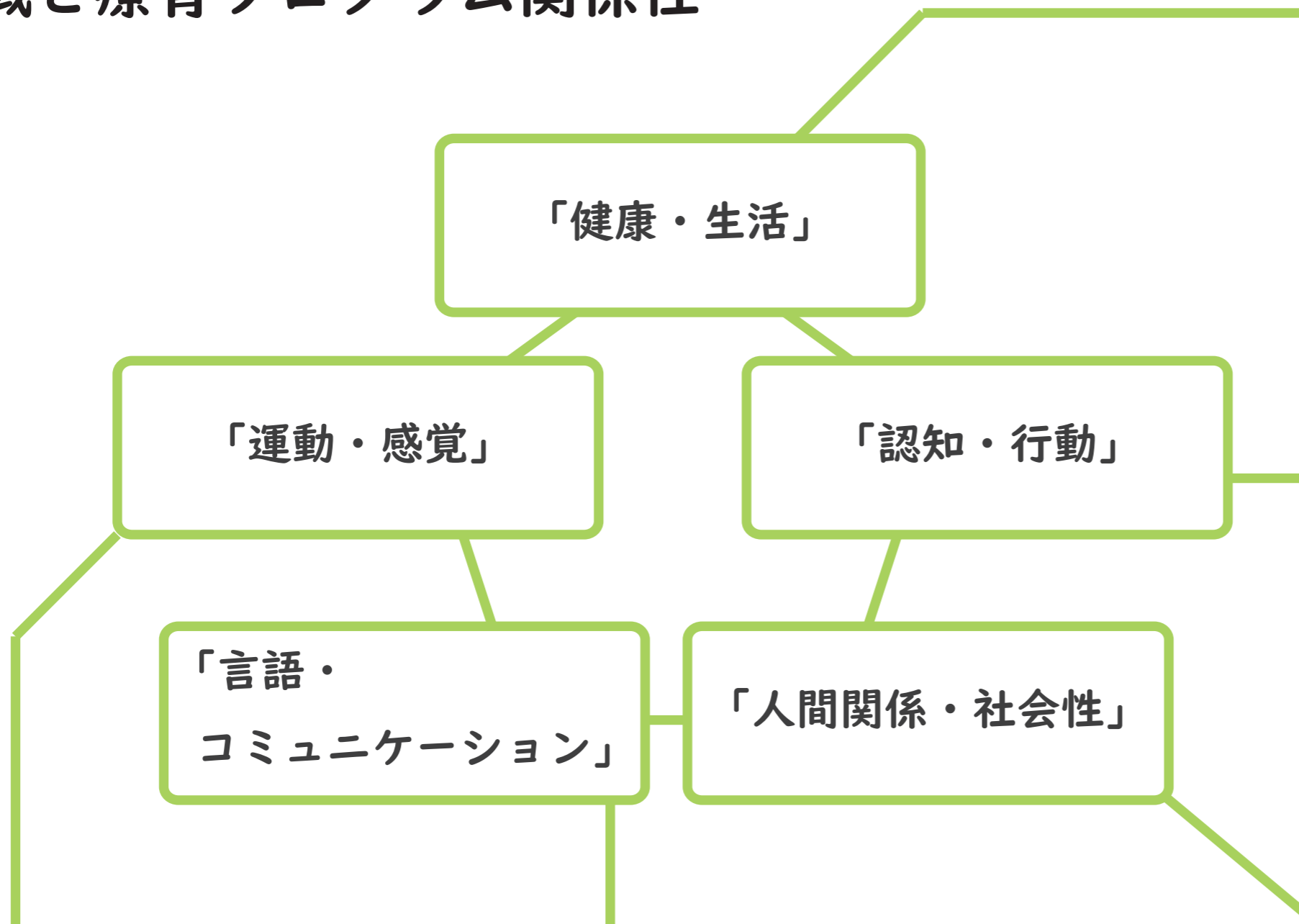


あっぷるⅡ(学習支援式)

5領域と療育プログラム関係性



「健康・生活」

- ・来所時、毎回体温測定や口頭での質問により、健康状態を確認する。意思表示が困難である子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう気を付ける。
- ・連絡ノートを通して保護者と連帯をし、日々の自宅での生活状況の把握及びあっぷるでの様子を共有し、本人の基本的な生活スキルの習得を促していく。
- ・TPOに合わせた挨拶や行動がとれるように、基本的な言葉使いや行動を学べるよう指導していく。

SST

「認知・行動」

- ・ビジョントレーニングを通して、視覚から行動への認知過程の発達を促し、感覚や認知の偏りの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応と繋がるように「見る力」を強化していく。
- ・カードトレーニング（ソーシャルスキルカード等）を通して、視覚からの瞬間的な情報収集の習得、生活に必要な事や常識的な知識の習得の支援を行っていく。
- ・外国語講座のワークショップを通して、異文化社会の理解と外国語への興味をもてるよう支援を行っていく。

ビジョントレーニング SST

「運動・感覚」

- ・ビジョントレーニングを通して、身体全体の感覚や体幹の強化及び視野角からの状況把握や空間把握の向上を図り、自己のイメージ通りに身体が動かせるように指導していく。また、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や動作の改善及び習得、筋力の強化を図っていく。

ビジョントレーニング

「言語・コミュニケーション」

- ・集団での協同遊びや集団活動を通じて、コミュニケーション能力の向上のための支援を行っていく。
- ・カードトレーニング（お話カード等）で絵を見て、自由に物語を創作し、第三者に伝えることで、創造性を育み、環境の理解と意思の伝達を学べるように支援を行っていく。
- 自分の気持ちを相手に伝える学習を通して、語彙力の向上及び他者の相互理解につながるよう促していく。

SST

「人間関係・社会性」

- ・事業所内での日課やルールを守ることで、集団生活や日常生活の基盤を築く。
- ・ドッチボールや鬼ごっこ等の集団での遊びを通じて、手順やルールを理解し、協同遊びや集団活動に参加できるよう徐々に社会性の発達を育めるように支援を行っていく。
- ・遊びや余暇活動（パズルや間違い探し等）を通して好きな遊びで過ごす過程において対人関係や集団関係を学び、コミュニケーション能力を育めるように支援を行っていく。

SST